

京都府の学校教育の目指す姿  
→ 次世代の子どもを育てる教育の創造  
→ 伝統と文化の継承と創造  
→ 未来の子どもを育てる教育の創造

## 令和4年度 山ノ内学校 学校教育グランドデザイン

### 学 校 教 育 目 標

自ら考え、判断し、共に生きる子どもの育成

～自分意識をもって行動し、よりよい未来の創り手を育てる教育の創造～

### め ざ す 子 ど も 像 ( く す の き )

- |                  |            |
|------------------|------------|
| ○くじけず、しなやかな子ども   | ○すすんで学ぶ子ども |
| ○のんびりと、共に活動する子ども | ○きまりを守る子ども |

### め ざ す 教 職 員 像

すべての児童が学びやすい学校を作り、すべての教職員で働きやすい学校を作る

- |                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| ○多様な児童の成長を認める教職員 | ○これからの学校教育を創造する教職員    |
| ○児童の見本となる教職員     | ○すべての児童の確かな学びに寄り添う教職員 |

### 本年度の山ノ内小学校の目指す学校像

- 「とらわれない」「おそれない」「あきらめない」持続可能という視点から考える学校システムの刷新
- |                     |                  |
|---------------------|------------------|
| ○子どもにとって、毎日行きたくなる学校 | ○保護者にとって通わせたい学校  |
| ○地域にとって、応援したくなる学校   | ○教職員にとって働きたくなる学校 |

#### 授業のユニバーサルデザイン化をめざす ICT機器の活用

- ・多様な児童の学びを保障する授業のUD化
- ・授業のUD化を通して視覚化、焦点化、共有化した授業の実践
- ・UD化の視点を取り入れたGIGA端末を活用した授業の展開
- ・授業改善とカリキュラムマネジメントの一体化
- ・ICTを活用した校務の効率化

#### 生徒指導の三機能を意識した すべての子どもに居場所と役割のある授業

- ・子どもの主体的な学びのために、教職員は我慢して待ち、見守る。
- ・誰一人取り残さない学校・学年・学級づくり
- ・自己決定のある日々の授業づくり
- ・子どもの自己存在感を大切にする心の育成
- ・共感的な人間関係に支えられる仲間づくり
- ・子どもの心に届く指導の徹底

#### 多様性を認める 新しい学校・学年・学級づくり

- ・多様な児童の違いを認める学校体制
- ・支援の必要な児童に対する確かな手立て
- ・多様な働き方を許容する学校文化の創造
- ・共通理解を超えた共通実践
- ・大胆に改革して、頑固に守り、持続可能な学校教育改革につなげる